

# シルバーたいとう センターだより

No.121

発行 公益社団法人台東区  
シルバー人材センター  
編集 総務・広報委員会  
台東区小島1-5-5  
電話 3864-3338  
FAX 3864-3383  
アドレス <http://www.taito-sc.or.jp/>  
メール [taito@sjc.ne.jp](mailto:taito@sjc.ne.jp)  
発行日 平成27年10月15日  
会員数 931人(27年9月末日現在)

## 10月は広報活動強調月間です。



東京しごと財団「特設展示コーナー」にて

台東区シルバー人材センターは、働くことを通じて高齢者の生きがいと健康づくりをすすめる、活力ある地域社会づくりに貢献していただくため、高齢者の皆様に就業の機会を提供と会員の社会活動への参加を支援しています。高齢社会の進展にともない、シルバー人材センターの果たすべき役割はますます重要になっていきます。

そのため、シルバー人材センターで行っている様々な事業活動について、地域の皆様の理解と協力をお願いしていただくため、広報活動にも力を入れて取り組んでいます。この活動の一環として当センターでは、公益財団法人東京しごと財団とともに、毎年十月を広報活動強調月間と定めて、シルバー人材センターの地域特性を活かした取り組みや特色ある事業活動などのPRに努めています。

当センターでは、十月の広報強調月間の活動の取り組みとして、十月十五日・十六日開催の「消費生活展」と十月二十一日・二十二日開催の「寿作品展示会」に参加します。これらの事業には、消費者団体や老人クラブの皆様など、多くの団体や個人の皆様が様々な展示や事業紹介等を行っています。多くの皆様のご来場をお待ちします。当日は、会員の募集やシルバー人材センターへの発注のお願いなどを記載したPR用リーフレットなどを配布するとともに、会員の方々による折り紙や毛筆筆耕の実演や作品を展示し、当センターの活動をPRします。

シルバー人材センターでは、より多くの就業の機会を継続的に確保していくとともに、これからの高齢社会に向けて新たな就業の機会を確保していく必要があります。会員の皆様が力を合わせながら協力して就業先でのお客様に対するサービスの向上を心がけることが、シルバー人材センターの大きなPR活動にもつながります。

より一層シルバー人材センターを社会に貢献する団体として、今後とも、シルバー人材センターの特徴を広く区民の皆様にもアピールしていくため、会員の皆様とともに広報活動を展開して参ります。

## 理事会だより

### 第四回理事会(平成二十七年七月二十八日開催)

#### 審議事項

- (1) 会員の入退会について
- (2) 平成二十七年安全就業実施計画(案)について
- (3) 家事援助サービスへの取組み方針(案)について

#### 協議事項

- (1) 平成二十七年年度広報活動強調月間の実施及び消費生活展・寿作品展示会への参加について

#### 報告事項

- (1) 平成二十七年六月分事業実施状況の報告について
- (2) 平成二十七年年度シルバー人材センター安全大会について
- (3) 就業開拓(家事援助等)に関するアンケート結果について
- (4) 賠償事故報告について

### 第五回理事会(平成二十七年八月二十六日書面による決議)

#### 提案事項

- (1) 新入会会員(八月二十日)の承認について

### 第六回理事会(平成二十七年九月二十九日開催)

#### 審議事項

- (1) 会員の入退会について
- (2) 平成二十七年年度接遇研修における費用弁償について

#### 報告事項

- (1) 平成二十七年七月分・八月分事業実施状況の報告について
- (2) 安全宣言について
- (3) 事業委員会からの報告について
- (4) 役員等が参加する行事等の予定について

## 委員会だより

### 第三回総務・広報委員会(平成二十七年九月二十九日開催)

- (1) センターだより十月号について
- (2) シルバーたいとうセンターだより新年号の記事について

### 第一回事業委員会(平成二十七年四月二十一日開催)

- (1) 就業開拓について

### 第二回事業委員会(平成二十七年七月二十八日開催)

- (1) 委員長及び副委員長の選任について
- (2) 就業開拓について

### 第三回事業委員会(平成二十七年九月二十九日開催)

- (1) 家事援助サービスについて
- (2) 家事援助等にかかる研修会及び勉強会について

## 安全就業を推進するため「安全宣言」を定めました

都内のシルバー人材センターでは九年連続して五百件以上の傷害事故が発生しており、更に平成二十六年度は死亡事故が四件、入院百八十日以上以上の重篤事故が一件発生しました。東京都シルバー人材センター連合では、この事態を深刻に受け止め、「安全宣言」(平成二十七年七月一日)を定めました。シルバー人材センターでは、安全宣言を順守して安全就業の意識啓発に努めるとともに、会員の皆様には「安全就業十ヶ条」を再度確認して、就業中や行き帰りの事故の未然防止に努めてください。

### 安全宣言

「安全はすべてに優先する」との基本理念のもと、組織が一丸となって、事故ゼロを目指す。一 危険または有害な作業を内容とする業務は受注しない

- 一 事故の未然防止のために必要な知識・技能の情報を共有する
- 一 事故の情報を分析し再発防止を徹底する

## 東京都シルバー人材センター連合の安全就業パトロール指導員が就業現場を視察しました

平成二十七年八月十九日(水)に金杉区民館と金杉区民館下谷分館に、東京都シルバー人材センター連合安全就業パトロール指導員丸山眞氏の現場巡回指導が実施されました。会員の安全就業と事故防止の徹底を図ることを目的に就業している会員の話を聞きながら、気が付いた点について指導をされました。

- ① 就業状況について、② 就業環境について、③ 保護具の使用等について聞き取り調査を行いました。

階段を清掃するときの注意事項として、次のような指摘を受け転落防止対策を指導されました。

- ① 階段の同じ段に両足をそろえた状態で立たない。
- ② 足は段違いの状態、前足の一段上を掃除する。
- ③ 掃除機を使用しないで、モップ・帚・粘着ローラなどで作業する。
- ④ 階段を上り下りする時には、両手に物を持たない。
- ⑤ 階段を降りる時は、片方の足の状態を確認しながら、階段の踏み面をしっかりと視野に入れる。

午後は、当シルバー人材センター会議室に於いて、安全就業の取組みについての確認と助言を受けました。会員の皆さんは、清掃業務に限らず、様々なお仕事を請け負っている中で、それぞれの就業先では、作業の安全には十分注意してください。



金杉区民館にて



金杉区民館下谷分館にて

## 安全就業巡回指導 実施中!!

毎年、七月から来年二月までの計八回、安全支援員による安全就業巡回指導を実施しています。今年も、七月十五日の東上野保育園及び台東保育園の清掃作業の現場をはじめ、八月十九日には金杉区民館等の清掃作業、九月十日は民間会社の清掃現場などの就業先を訪問して、会員の就業状況を視察しました。

それぞれの就業先では、会員の方々が元気に作業を行っていました。就業状況や環境は良好に保たれていて、仕事の発注者からは、皆さん大変良くやっていたと聞いていますとお話をいただきました。身の回りの整理整頓に心掛けているほか、「毎月十日は安全就業の日」のポスターや緊急連絡先を控室等に掲示してあります。就業にあたっての危険箇所は、特に見当たりませんでした。屋内の清掃では、階段の清掃には十分注意して、階段を踏み外して怪我をするようなことがないよう、注意を喚起しました。これからも、会員の皆様が安全に就業していただくよう、できる限り皆さんの就業先を訪問してまいります。

## 安全リーダー研修に参加

平成二十七年七月二十二日、東京しごと財団の会議室において、第二ブロック合同シルバー人材センター安全リーダー研修が開催されました。安全管理委員会から石森委員長、河野副委員長、辻委員、金子委員、吉良委員、窪田委員、石黒委員、中野委員、五所尾委員の九名が参加しました。研修会では、去る七月一日に東京都シルバー人材センター連合が発表した「安全宣言」の紹介があった後、独立行政法人労働安全

衛生総合研究所の高木元也氏からお話をいただきました。演題は、「就業現場で繰り返し発生している災害を防止しましょう」でした。

平成二十六年度災害発生(事故)概況によると、災害発生総数三百一十一件のうち上位十種類(次表をご参照ください)の災害(二百五十六件)が就業中の災害の約八十二%を占めています。これらの災害の原因を精査してみると、同じような災害が多く、繰り返し発生しているという状況を踏まえて、会員の皆様が安全に就業することを目指して安全管理の見直しを図る必要性について講演されました。

平成26年度に発生した就業中の災害(事故)の上位10種

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
屋内軽作業	各種安全指導サービス	家事援助サービス	広報関連サービス	除草作業	駐車場管理	屋外清掃作業	建物管理	植木・造園工事	屋内清掃作業	災害(事故)発生時の作業等
8件	10件	18件	20件	23件	27件	29件	31件	41件	49件	件数
計										256件

◎「屋内清掃作業」における四十九件の災害(事故)のうち、二十九件(約五十九%)は、繰り返して発生した災害(事故)です。

4	3	2	1	
腰痛	滑って転倒	つまづき転倒	階段での作業時	繰り返し災害
3件	6件	9件	11件	件数
				対応
				①両手で物を持たない ②階段の同じ段に足を揃えた状態で立たない ③下方の状況を確認する ④なるべく爪先部の高い靴を履く ⑤滑りにくい靴を使用する ⑥モップ掛けの時は、床が滑らないように十分水分を拭く

◎安全に就業するために  
(一) 作業の順序に合わせて、安全ポイントを定める

(二) 作業の手順ごとに作業の「急所」を定めてノートに記入する

◎このようなことを心掛けると、次のような効果が期待できます。

- ・仕事の「安全」が確保できる
- ・仕事の「能率」が上がる
- ・仕事の「でき映え」が良くなる

## シルバー人材センター安全大会が開催されました

九月三十日(水)、「シルバー人材センター安全大会」(主催 東京しごと財団)が開催されました。当センターからは、安全管理委員会の石森弘委員長、窪田郁博委員、吉良ユリ子委員、五所尾武司事務局長の四名が参加しました。午後一時三十分には東京しごと財団の中山理事長から開会挨拶の後、今年度の安全就業優良シルバー人材センターである府中市と西東京市のシルバー人材センターに対して表彰状が授与されたあと、安全就業標語の表彰式がありました。その後、安全就業に関する事例発表が続いて、公益財団法人労働科学研究所 システム安全研究グループの井上枝一郎研究主任の講演があり、午後四時十五分頃に終了しました。

## 毎年、健康診断を受けましょう

健康に就業するためには、まず健康であることが一番です。毎年一回、台東区が実施する総合健康診査や、皆さんが加入している健康保険組合などで行う定期健康診断を受診して、自分の健康状態をチェックしましょう。これからも元気で明るく楽しい生活を維持しながら、安全に就業できるように「自分の健康」を見直す良い機会としてください。健康診断等のお知らせや転倒予防教室など各種の健康教室などへの参加は、台東区が毎月発行している広報「たいとう」をご覧ください。

## シルバーパス交付事務に 四十三名の会員が従事しました

九月一日から一ヶ月間、台東区役所や生涯学習センターなど八か所に設置された窓口で、平成二十七年「東京都シルバーパス」の更新手続きが行われました。この業務には四十三名の会員（延二三九名）が、二十二日間にわたって従事しました。従事された会員の皆さんは、会場の整理や書類チェックと審査、シルバーパスの氏名記入等の業務について事前に説明を受けたほか、接遇の研修も受けて言葉遣いなどにも注意しながら、親切丁寧な業務にあたっていました。区外からの申請者を含めて約一万の方々に新しいシルバーパスをお渡ししました。



シルバーパス交付事務の様子

## 入会説明会を開催しています

### ☆シルバー人材センターで一緒に働きませんか☆

毎月、原則として第三木曜日の午後一時半からシルバー人材センター会議室において、シルバー人材センターの入会説明会を実施しています。区内にお住まいで、六十歳以上の健康で働く意欲のある方に対して就業の機会を提供しています。現在、九百二十名ほどの方が入会しています。生きがいや地域参加を目指して一緒に働きませんか。シルバー人材センターで働いてみようとお考えの方は、どうぞお気軽にご参加ください。ご不明な点は事務局までお問い合わせください。

## シルバー人材センターを名乗って 営業活動している業者に注意！！

「シルバー人材センターの方から来た者です」と言っていると、植木の剪定や除草、部屋の清掃などの仕事を請け負いますと営業活動している業者がいます。このような業者は当センターとは一切無関係です。当センターでは、各ご家庭や企業等から電話で仕事の依頼を受けて、職員が請負金額を見積もった上でお仕事を請け負っています。お支払は、金融機関の口座への振込みが基本です。仕事に伺った方が、その場で現金の受け取ることは、絶対にありません。シルバー人材センターの名前をかたった詐欺等には、十分に注意してください。また、お気づきの点がありましたら、事務局までお問い合わせください。

## 平成二十八年度シルバー人材センター 安全標語を募集します

東京しごと財団では、平成二十八年度の安全就業の普及・啓発活動の一環として安全標語を募集しています。標語は、安全就業対策の一環として、会員自らが安全就業に考えることで、安全に就業する意識をより一層高め、事故防止に資することを目的としています。応募のあった標語は、平成二十八年五月頃に、東京都シルバー人材センター連合で最優秀作品と優秀作品を決定します。

### 《テーマ》

『私の安全行動』または安全就業に関連して自由に設定したテーマで応募してください。

### 《締め切り》

平成二十七年十一月三十日（月）

### 《応募方法》

官製はがきに標語のテーマと「安全標語」を書いて郵送してください。

### 《応募先》

台東区小島一―五―五

### 《選考》

台東区シルバー人材センター  
当センター総務・広報委員会において審査、選考のうえ、東京しごと財団に推薦します。

### 《活用方法》

- ① 東京都シルバー人材センター連合統一安全標語として「シルバーとうきょう」への掲載
- ② 安全啓発ポスターへの掲載
- ③ 月刊シルバーへの掲載
- ④ 事故速報への掲載 等

〔参考〕これまでの最優秀作品

年度	最優秀作品
平成24年度	ヘルメット 着けるマナーで 踏むペダル 口ほどに 達者じゃないよ 足と腰
平成25年度	慣れるほど 初心に返れ その仕事 まず止まり 譲るゆとりは 事故はなし
平成26年度	気をつけよう 段差・スリッパ・急ぎ足 慣れた道 急ぐ心が 事故のもと
平成27年度	危険だと 区づく気持ち 事故防ぐ これでもか 最後を確認 二度三度

## 自転車は安全に乗りましょう

都内のシルバー人材センターの就業途中での事故は、約七割が自転車利用時で、そのうち約七割が転倒などの自損事故です。次のようなことを参考に、安全に自転車を利用しましょう。

### ●ペダルを踏みだす位置を工夫しましょう

始めの位置が低いと…



不安定…

◎75°以上の位置から  
発進すると安定します！



### ●自転車運転中は“ヘルメット”を着用 しましょう

◎自転車で亡くなられた方の多くが頭部を負傷しています

年齢を重ねるごとに運動・認知能力は低下していきます。『自分は大丈夫』という気持ちが、危険な事故につながります。ルールを守り、周囲の状況を確認しながら安全に自転車を運転しましょう。

自転車を運転する際は、頭部を守るためヘルメットの着用を強くお勧めします。ヘルメットに関するパンフレットを配布していますので、事務局にお問い合わせください。



### ●車輪の小さい自転車に 乗ってみましょう

◎車輪が小さいと重心が  
低くなり、安定します。



石井多喜子さんの作品『旧市街のバザール』

石井多喜子さんは、「旧市街のバザール」と題して洋画部門に作品を出展され、「心と心がつながり毎日ありがとう」と感謝の気持ちで書きましたとお話されました。



小松原文代さんの作品『希望』

小松原さんは、「希望」と題して洋画部門に作品を出展され、「生きる喜びと希望」をモチーフに向日葵を描きましたとお話されました。

第三十八回台東区美術展(主催 台東区教育委員会・台東区美術会)が、九月十一日(金)から十六日(水)の六日間、区立隅田公園リバーサイドギャラリーで開催されました。今年の美術展には、洋画八十九点、日本画十点、彫刻二点の作品が出展、展示されました。シルバー人材センターの会員であり、台東区美術会委員の小松原文代さんと石井多喜子さんが参加、出展されました。お二人の作品も含めて、台東区美術展に展示された作品は、どれも心に響く素晴らしい作品でした。

## 会員さんが台東区美術展に出展

# 会員ひろば

## 毛筆筆耕講習会が開かれました

九月八日(火)午前  
十時より小島社会教育館ホールにおいて、「消費生活展に向けてA3に安全標語」及び「宛名書き」をテーマに毛筆筆耕の講習会が開かれました。受講されている皆さんは、真剣に毛筆の技術向上に取り組んでいました。会員を対象とした毛筆筆耕講習会に、是非ご参加ください。参加を希望される会員の方は事務局までお問い合わせください。



## パソコン講座を開催しました

毎月、六十歳以上の区民を対象とするパソコン講座を開催しています。  
十月のテーマは「デジタルカメラ講座」、「インターネットで年賀状作成」、「筆ぐるめで年賀状作成」です。興味のある方はどうぞご参加ください。詳しくは、区の「広報たいとう」をご覧ください。



## 折り紙塾が開かれました

九月二十九日(火)  
午前十時より、シルバー人材センター会議室において会員を対象とする折り紙の講習会が開かれました。今回のテーマは「すいれん」でした。月1回のペースで、楽しく折り紙の技術を勉強していますので、折り紙塾に是非ご参加ください。参加を希望される会員の方は事務局までお問い合わせください。



## ボランティアに参加しています

区内の特別養護老人ホームや児童館などで、会員グループによる「折り紙講習会」を行っています。八月十八日(火)には「特別養護老人ホーム浅草」を訪問して折り紙教室を開催しました。宮澤リーダーをはじめ七名のシルバー人材センター会員の方々がボランティアで参加し、デイスリーブスを受ける皆さんと一緒に、優しく触れ合いながら楽しく折り紙を折りました。



## 私のフォトグラフ

### 投稿写真

## 投稿コーナー



桜橋から東京スカイツリーを望む  
(榎井修さん撮影)



隅田公園にて(榎井修さん撮影)



不忍池・蓮の花(石森弘さん撮影)



隅田公園からスカイツリーを望む  
(榎井修さん撮影)

## 投稿をお待ちしています

会員の広場は会員皆様のコーナーです。趣味やボランティアを始め、俳句、川柳、写真、絵画の紹介など、また、日常の出来事で感銘を受けたことでも結構です。奮ってご応募ください。

### 応募方法

俳句や写真、絵画などの作品掲載は、作者名とともに題名・作品名をお知らせください。活動内容の説明や出来事などの紹介は、四百字以内でお願いします。なお、ご応募いただいたものは返却できませんので、ご承知のうえお送りください。

### 応募先

台東区小島1-5-5 台東区シルバー人材センター 総務・広報委員会  
シルバー人材センターへの要望・提案をお聞かせください。